

● 中国農村調査（2007年）概要

・ 目的

経済学は、効用関数に一定の前提をおき、人々がその効用を最大化するように合理的に行動するという前提を採用している。しかしその前提が本当に正しいかどうかについては、ほとんど検討されていないのが現状である。われわれは現在の経済学が前提としている人々の合理性と効用関数についての見方が正しいのかどうかを明らかにする目的でアンケート調査を実施する。

・ 調査年

2007年に調査を行った。

・ 調査票に含まれている質問項目

調査票の概要は次のとおりである。

- ① 危険回避度、時間選好率、習慣形成、消費の外部性に関する一般質問項目
- ② 個人・世帯の基本属性、家計・消費等に関する基本的属性項目

● 調査方法

・ 調査設計

➤ 母集団

新規抽出標本による。抽出台帳は、現地抽出。

➤ 新規抽出標本の母集団

2006年2月に実施した都市部での調査地点（北京、上海、成都、武漢、瀋陽）を起点とし、当該省内での農村部抽出。このうち、発展著しい大都市近郊（北京・上海）、および辺境地帯が含まれる恐れのある四川省（成都）は除いた。

遼寧省 (東北エリア)	営口市	邊城鎮-地村、湯池鎮-前三元村、双台鎮-西双村、梁屯鎮-梁屯村
	盤錦市	高昇鎮-邊東村、東郭鎮-宴屯村、新. 鎮-西五村、王家鎮-旭東村
	葫蘆島市	山神廟子鎮-山西村、高橋鎮-高豊村、郭家鎮-魏村、楊樹湾子鎮-楊樹湾村
湖北省 (華中エリア)	鄂州市	燕. 鎮-路牌村、杜山鎮-旭東村、澤林鎮-寿橋村、新廟鎮-将車村
	十堰市	黄龍鎮-李家湾、柏林鎮-柏林村、白浪鎮-白浪村、大川鎮-大川村
	随州市	万店鎮-塔湾村、安居鎮-王楼村、浙河鎮-羅井村、均川鎮-紅石婭村

※また高年齢層の回答質を上げる対策として、遼寧省葫蘆島市台集屯鎮姚家屯村で50-60代の男女計4件のパイロットテストを実施。その回答結果を本調査での調査設計に役立てた。

(パイロットテスト 2007年1月15日)

- ◇ 上記調査地点に居住する満 20～69 歳の一般男女個人。
- ◇ サンプルサイズ：合計 500 サンプル。各省ごとに 250 サンプル、性×年齢で以下のように均等に割り付けた。

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	小計
男性	28s	28s	28s	28s	13s	125s
女性	28s	28s	28s	28s	13s	125s
合計	56s	56s	56s	56s	26s	250s

- 抽出方法：3 段階多段抽出法
 - 調査時期・合計調査数・有効回収数・回収率
- ※回収数ベースの調査

年度	調査実施時期	合計調査数	有効回収数	回収率
2007 年	2007 年 2 月 8 日～28 日	—	500	—

- ・ 地点および対象者の抽出方法
 - 各省から 3 都市抽出→各都市の周辺から 4 つの鎮を抽出→各鎮の農村から約 20 名の対象者を抽出。
 - 調査都市の選択は 2004 年国家統計局が発表した中国都市統計年鑑による社会消費財小売額を指標とした。各省における代表性と調査内容への理解度を勘案した上で、調査が実施可能な中間レベルの都市を複数選定した。

省	地級市	社会消費財小売額 (人民元：万元)
湖北	襄樊	1110701
	宜昌	1022139
	荊州	759100
	黄石	582757
	鄂州	545266
	十堰	542419
	随州	431542
	荊門	400367
	孝感	254865
	黄冈	170100
	咸寧	120596

省	地級市	社会消費財小売額 (人民元：万元)
遼寧	大連	5475830
	撫順	1360291
	鞍山	1149724
	錦州	745248
	本溪	589635
	葫芦島	554571
	盤錦	524166
	營口	510306
	阜新	473441
	丹東	446649
	遼陽	401743
	鉄岭	276556
	朝陽	194569

- ・ 調査方法：訪問面接調査法
 - 調査員は現地民間調査機関から派遣した。
- ・ 調査の実施：株式会社日経リサーチに委託した
- ・ データの制約より、データセットの重み付け（サンプリング・ウェイト）変数は利用可能ではない。